

中東における中央権力と地域性

——イランとエジプト——

後藤晃・鈴木均編

中東における中央権力と地域性

——イランとエジプト——

後藤晃・鈴木均編

アジア経済研究所

研究双書No.479

後藤晃・鈴木均編『中東における中央権力と地域性—イランとエジプト—』

Chūtō no Chūō-kenryoku to Chiiki-sei: Iran to Ejiputo
(Central Power and Locality in the Middle East: Cases of Iran and Egypt)

Edited by

Akira GOTŌ and Hitoshi SUZUKI

Contents

- Introduction: An Approach from Geographical and Climatic Features (Hitoshi SUZUKI)
- Chapter 1 Regional Ecosystems and Inter-regional Structure of Iran (Hitoshi SUZUKI)
- Chapter 2 Centralism of Egypt: An Introductory Note on Gamāl Ḥamdān's *The Personality of Egypt* and on His Personal History (Eiji NAGASAWA)
- Chapter 3 Issues of Nation-state in Iran: From the Perspectives of Central-local and City-village Relationships (Akira GOTŌ)
- Chapter 4 Iranian Revolutionary Government's Reigns over the Rural Areas and Agrarian Reform Problems (Kenji TOMITA)
- Chapter 5 Relationships between Central Government and Local Power: The Case of Jangali Movement, 1915-1920 (Takashi KURODA)
- Chapter 6 Language Policy of Iran (Tetsuo NAWATA)
- Chapter 7 Publication of the Regional Descriptions and Its Importance in the Center-province Relations of Iran (Makoto HACHIOSHI)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 479]

Published by the Institute of Developing Economies, 1997
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

中東における中央権力と地域性

すずき ひとし
鈴木 均 (アジア経済研究所地域研究部)

ながさわえいじ
長沢栄治 (東京大学東洋文化研究所助教授)

ごとう あきら
後藤 晃 (神奈川大学経済学部教授)

とみた けんじ
富田健次 (大分芸術文化短期大学教授)

くろだ たかし
黒田 卓 (東北大学大学院国際文化研究科助教授)

なわただてつお
縄田鉄男 (東京外国語大学外国語学部教授)

はちおしまこと
八尾師誠 (東京外国語大学外国語学部助教授)

—執筆順—

中東における中央権力と地域性
—イランとエジプト—

研究双書479

1997年4月25日発行© 定価は裏表紙に表示してあります

編者 後藤晃・鈴木均

発行所 アジア経済研究所
東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

発売所 アジア経済出版会
東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)1640
FAX 東京(3357)0435
振替 00150-7-143692

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04479-2



定価(本体4300円+税)

ISBN4-258-04479-2 C3031 ¥4300E

目 次

まえがき

序 章 風土論からの接近	鈴木 均	3
第1節 問題の設定		3
第2節 日本における風土論の展開		5
第3節 本書の構成		10
第1章 イランの生態圏と地域的構成	鈴木 均	17
第1節 用語・概念上の問題		17
第2節 これまでイランの中央—地方関係はどう把握されてきたか		22
第3節 イランの地域的構成モデルの提案		24
第4節 ガズヴィーンの地域的特質——事例的考察		39
第5節 結論にかえて		54
第2章 エジプトの中央集権性		
——ガマール・ヒムダーン著『エジプトの個性』をめぐって——		
.....長沢栄治		59
はじめに		59
第1節 民族主義（ワタニーヤ）の地理学者，ヒムダーンの個人史		63
第2節 『エジプトの個性』の構成内容		74
第3節 同質性		84
第4節 統一性，中央集権性，そしてファラオ的専制		97
むすびにかえて		112

第3章 イランにおける国民国家形成の問題

——中央・地方および都市・農村の関係をめぐって——

……………後藤 晃…121

はじめに ……………121

第1節 19世紀後半における中央と地方 ……………123

第2節 レザーシャーの地主王政と中央・地方関係 ……………134

第3節 白色革命期の近代化政策における農地改革の意義 ……………145

第4節 開発独裁の時代における中央と農村の関係 ……………166

結びにかえて ……………176

第4章 イラン革命政権の地方掌握と農地改革問題 ……富田健次…183

はじめに ……………183

第1節 革命直後の中央と農村域の状況 ……………185

第2節 革命後の中央による村落域掌握の側面 ……………192

第3節 農地改革問題の顛末 ……………203

結語に代えて ……………213

第5章 ジャンギャリー運動にみる中央—地方関係

——1915～1920年——……………黒田 卓…227

はじめに ……………227

第1節 反転攻勢：1915年後半～1917年夏 ……………229

第2節 「ジャンギャリー・レジーム」：1917年秋～1918年夏……………236

第3節 交渉から対決へ：1918年秋～1919年冬 ……………243

第4節 破局の淵から部分的再生へ：1919年春～1920年春 ……………249

おわりに ……………258

第6章 イランの言語政策 ……………縄田鉄男…269

はじめに ……………269

第1節 多民族・多言語国家イランの一般言語事情	270
第2節 言語構造的見地および社会言語学的見地からみたペルシア語...	278
第3節 パフラヴィー朝期の言語政策	284
第4節 イラン・イスラーム共和国の言語政策	294
おわりに	296

第7章 国民国家イランにおける「地方史・誌」の出版と

中央・地方関係	八尾師 誠	305
問題の所在		305
第1節 「地方史・誌」とは		308
第2節 「地方史・誌」と問題意識		310
第3節 「地方史・誌」の対象地域をめぐる問題（分析1）		312
第4節 「地方史・誌」の出版をめぐる問題（分析2）		320
小結		325